

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成23年8月11日
【四半期会計期間】	第9期第1四半期（自平成23年4月1日至平成23年6月30日）
【会社名】	アルフレッサホールディングス株式会社
【英訳名】	Alfresa Holdings Corporation
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 石黒 傳六
【本店の所在の場所】	東京都千代田区大手町一丁目1番3号
【電話番号】	03 - 5219 - 5100
【事務連絡者氏名】	取締役常務執行役員 財務・広報IR担当 三宅 俊一
【最寄りの連絡場所】	東京都千代田区大手町一丁目1番3号
【電話番号】	03 - 5219 - 5100
【事務連絡者氏名】	取締役常務執行役員 財務・広報IR担当 三宅 俊一
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号） 株式会社大阪証券取引所 （大阪市中央区北浜一丁目8番16号）

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第8期 第1四半期連結 累計期間	第9期 第1四半期連結 累計期間	第8期
会計期間	自平成22年4月1日 至平成22年6月30日	自平成23年4月1日 至平成23年6月30日	自平成22年4月1日 至平成23年3月31日
売上高(百万円)	529,039	573,016	2,183,345
経常利益(百万円)	8,966	3,945	17,931
四半期(当期)純利益(百万円)	5,047	1,831	6,587
四半期包括利益又は包括利益 (百万円)	3,942	2,541	14,523
純資産額(百万円)	224,969	236,984	236,768
総資産額(百万円)	970,548	1,057,029	1,078,863
1株当たり四半期(当期)純利益 金額(円)	100.21	35.77	129.69
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円)	-	-	-
自己資本比率(%)	22.7	22.0	21.6

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含んでおりません。

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在していないため記載しておりません。

4. 第8期第1四半期連結累計期間の四半期包括利益の算定にあたり、「包括利益の表示に関する会計基準」(企業会計基準第25号 平成22年6月30日)を適用し、遡及処理しております。

2【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。
また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定または締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 業績の状況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響による原子力災害や電力供給の制約並びに燃料高の影響による景気の下振れ懸念が残るなか、サプライチェーンの立て直しとともに生産活動が回復し始めました。

医療用医薬品卸売市場におきましては、4月以降も震災によりメーカーの一部製品に出荷調整の影響があったものの、生活習慣病関連薬や認知症治療薬が順調に推移したこと等により、市場は1.2%伸長（クレコンリサーチ&コンサルティング株式会社推定）いたしました。当社グループにおきましては、震災及び原子力発電所事故の影響を受けた営業拠点を内陸部に移すなど商品供給体制を整え、平常の営業活動を継続しており、原子力発電所事故の被災地区をはじめとしたお得意様、患者様並びに従業員の生活等に影響がみられるものの、業績に与える影響は軽微でありました。当第1四半期連結累計期間は、前連結会計年度の売上総利益率の大幅な低下を踏まえ、売上総利益の確保に向けた取り組みを強化するとともに一層のローコストオペレーションを推進しております。さらに、アルフレッサ株式会社が平成24年5月の稼働に向けて愛知県一宮市に大型物流センターの着工を進めるとともに、本年5月には明祥株式会社がグループ基幹システムの共同利用を開始するなど、中期構想に沿った事業基盤の強化をはかっております。

このような状況のもと当第1四半期連結累計期間の業績は、昨年10月の丹平中田株式会社の連結子会社化が寄与したことなどにより、売上高は5,730億16百万円（前年同期比8.3%増）、営業利益は14億7百万円（前年同期比78.8%減）、経常利益は39億45百万円（前年同期比56.0%減）、四半期純利益は18億31百万円（前年同期比63.7%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

〔医薬品等卸売事業〕

医療用医薬品卸売事業におきましては、前連結会計年度における価格交渉の難航等に起因する販売価格低下の影響を考慮して、お得意様と慎重な価格交渉を行うとともに、販売費及び一般管理費の一層の低減を行っております。また、医薬品の安定供給に関わるインフラ整備と事業継続計画の見直しを進めております。

セルフメディケーション卸売事業におきましては、物流拠点及び営業拠点の再構築による効率化を行い、本年10月の実施を予定として、シーエス薬品株式会社のセルフメディケーション卸売事業を会社分割し、丹平中田株式会社と事業統合するための準備を進めております。さらに本年5月には、丹平中田株式会社、株式会社モロオ（本社：札幌市中央区）並びに当社の3社間において、ドラッグストアをはじめとする量販事業分野での広域にわたるサービスの提供と物流体制の構築要請に対応するために、本年11月を予定として、丹平中田株式会社が株式会社モロオの一般用医薬品等卸売事業のうち量販事業を譲り受けする基本合意書の締結を行いました。

当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高5,688億32百万円（前年同期比8.4%増）、営業利益11億41百万円（前年同期比81.9%減）となりました。なお、売上高にはセグメント間の内部売上高0百万円を含んでおります。

〔医薬品等製造事業〕

平成22年9月に製造販売承継により移管されたうつ病・うつ状態治療剤/遺尿症治療剤『トフラニール[®]錠10mg、同錠25mg』や整形外科領域における体内固定用ケーブル『ネスプロンケーブルシステム』の販売が大幅に増加したこと等により、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高63億87百万円（前年同期比6.5%増）、営業利益1億円（前年同期比0.8%減）となりました。なお、売上高にはセグメント間の内部売上高22億2百万円（前年同期比20.9%増）を含んでおります。

(2) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(3) 研究開発活動

当第1四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発費の総額は3億22百万円であり、これはすべて医薬品等製造事業を行っているアルフレッサファーマ株式会社によるものであります。

なお、当第1四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	135,000,000
計	135,000,000

【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末現在発行数(株) (平成23年6月30日)	提出日現在発行数(株) (平成23年8月11日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	51,972,563	51,972,563	東京証券取引所 大阪証券取引所 各市場第一部	単元株式数100株
計	51,972,563	51,972,563	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金 増減額 (百万円)	資本準備金 残高 (百万円)
平成23年4月1日～ 平成23年6月30日	-	51,972,563	-	18,454	-	38,140

(6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成23年3月31日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成23年6月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 754,500	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 51,012,800	510,128	-
単元未満株式	普通株式 205,263	-	-
発行済株式総数	51,972,563	-	-
総株主の議決権	-	510,128	-

(注)「完全議決権株式(その他)」及び「単元未満株式」の欄には、株式会社証券保管振替機構名義の株式がそれぞれ、700株及び20株含まれております。また、「議決権の数」の欄には、同機構名義の完全議決権株式に係る議決権の数7個が含まれております。

【自己株式等】

平成23年6月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
アルフレッサホールディングス株式会社	東京都千代田区 大手町1-1-3	754,500	-	754,500	1.45
計	-	754,500	-	754,500	1.45

(注)当第1四半期連結会計期間末日現在における自己名義所有株式数は754,974株、発行済株式総数に対する所有株式数の割合は1.45%であります。

2 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書の提出日後、当四半期累計期間において、役員の異動はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、当第1四半期連結会計期間（平成23年4月1日から平成23年6月30日まで）及び当第1四半期連結累計期間（平成23年4月1日から平成23年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	131,091	105,026
受取手形及び売掛金	550,216	563,483
有価証券	16,049	10,047
商品及び製品	126,356	119,823
仕掛品	523	479
原材料及び貯蔵品	1,383	1,504
未収入金	61,273	61,965
その他	13,573	12,967
貸倒引当金	880	677
流動資産合計	899,586	874,620
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	33,709	33,311
土地	51,618	51,273
その他(純額)	9,631	10,738
有形固定資産合計	94,959	95,323
無形固定資産		
のれん	2,800	2,508
その他	4,670	4,835
無形固定資産合計	7,470	7,344
投資その他の資産		
投資有価証券	52,615	55,656
その他	29,047	28,472
貸倒引当金	4,815	4,388
投資その他の資産合計	76,848	79,741
固定資産合計	179,277	182,409
資産合計	1,078,863	1,057,029

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	778,474	756,807
短期借入金	3,478	6,279
1年内償還予定の社債	60	60
未払法人税等	6,973	2,324
賞与引当金	5,746	7,402
その他	15,560	15,515
流動負債合計	810,293	788,389
固定負債		
長期借入金	3,445	3,169
退職給付引当金	14,823	14,949
その他	13,533	13,536
固定負債合計	31,801	31,655
負債合計	842,094	820,045
純資産の部		
株主資本		
資本金	18,454	18,454
資本剰余金	84,205	84,205
利益剰余金	122,978	122,505
自己株式	847	848
株主資本合計	224,791	224,316
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	13,584	14,258
繰延ヘッジ損益	0	0
土地再評価差額金	5,724	5,724
為替換算調整勘定	39	26
その他の包括利益累計額合計	7,820	8,507
少数株主持分	4,157	4,160
純資産合計	236,768	236,984
負債純資産合計	1,078,863	1,057,029

(2) 【 四半期連結損益及び包括利益計算書 】
【 第 1 四半期連結累計期間 】

(単位 : 百万円)

	前第 1 四半期連結累計期間 (自 平成22年 4 月 1 日 至 平成22年 6 月30日)	当第 1 四半期連結累計期間 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年 6 月30日)
売上高	529,039	573,016
売上原価	489,925	538,661
返品調整引当金戻入額	843	900
返品調整引当金繰入額	907	682
売上総利益	39,049	34,573
販売費及び一般管理費	32,415	33,166
営業利益	6,634	1,407
営業外収益		
受取利息及び配当金	611	770
受取情報料	1,246	1,356
その他	555	490
営業外収益合計	2,413	2,617
営業外費用		
支払利息	36	36
不動産賃貸費用	15	19
その他	29	23
営業外費用合計	81	79
経常利益	8,966	3,945
特別利益		
固定資産売却益	70	51
投資有価証券売却益	136	0
災害見舞金	-	159
収用補償金	110	-
抱合せ株式消滅差益	41	-
退職給付制度改定益	18	-
特別利益合計	377	211
特別損失		
固定資産売却損	-	1
固定資産除却損	22	14
減損損失	120	195
投資有価証券売却損	27	-
投資有価証券評価損	96	236
関係会社事業損失引当金繰入額	24	-
災害による損失	-	119
事業再編費用	-	31
事業構造改革費用	-	18
特別退職金	-	8
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	44	-
特別損失合計	335	625
税金等調整前四半期純利益	9,008	3,532
法人税、住民税及び事業税	5,093	2,183
法人税等調整額	1,261	504
法人税等合計	3,831	1,678
少数株主損益調整前四半期純利益	5,176	1,853
少数株主利益	129	21
四半期純利益	5,047	1,831

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
少数株主利益	129	21
少数株主損益調整前四半期純利益	5,176	1,853
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,232	674
繰延ヘッジ損益	4	0
為替換算調整勘定	2	12
その他の包括利益合計	1,234	687
四半期包括利益	3,942	2,541
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,814	2,519
少数株主に係る四半期包括利益	128	21

【追加情報】

当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用) 当第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号平成21年12月4日)を適用しております。

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

保証債務

連結子会社以外の会社の仕入債務及び金融機関からの借入、並びに従業員の金融機関からの借入に対して、次のとおり債務保証を行っております。

前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)																																
<table border="0"> <tr><td>㈲コーフク商事</td><td style="text-align: right;">591百万円</td></tr> <tr><td>㈱広島中央薬局</td><td style="text-align: right;">399百万円</td></tr> <tr><td>日建ヘルスメディカル㈱</td><td style="text-align: right;">87百万円</td></tr> <tr><td>ヒューマンメディカルリサーチ㈱</td><td style="text-align: right;">39百万円</td></tr> <tr><td>㈱ファイン総合研究所</td><td style="text-align: right;">33百万円</td></tr> <tr><td>従業員</td><td style="text-align: right;">21百万円</td></tr> <tr><td>その他 2件</td><td style="text-align: right;">15百万円</td></tr> <tr><td style="text-align: right;">計</td><td style="text-align: right;">1,188百万円</td></tr> </table>	㈲コーフク商事	591百万円	㈱広島中央薬局	399百万円	日建ヘルスメディカル㈱	87百万円	ヒューマンメディカルリサーチ㈱	39百万円	㈱ファイン総合研究所	33百万円	従業員	21百万円	その他 2件	15百万円	計	1,188百万円	<table border="0"> <tr><td>㈲コーフク商事</td><td style="text-align: right;">568百万円</td></tr> <tr><td>㈱広島中央薬局</td><td style="text-align: right;">365百万円</td></tr> <tr><td>日建ヘルスメディカル㈱</td><td style="text-align: right;">82百万円</td></tr> <tr><td>ヒューマンメディカルリサーチ㈱</td><td style="text-align: right;">39百万円</td></tr> <tr><td>㈱ファイン総合研究所</td><td style="text-align: right;">30百万円</td></tr> <tr><td>従業員</td><td style="text-align: right;">18百万円</td></tr> <tr><td>ささ企画(有)</td><td style="text-align: right;">11百万円</td></tr> <tr><td style="text-align: right;">計</td><td style="text-align: right;">1,116百万円</td></tr> </table>	㈲コーフク商事	568百万円	㈱広島中央薬局	365百万円	日建ヘルスメディカル㈱	82百万円	ヒューマンメディカルリサーチ㈱	39百万円	㈱ファイン総合研究所	30百万円	従業員	18百万円	ささ企画(有)	11百万円	計	1,116百万円
㈲コーフク商事	591百万円																																
㈱広島中央薬局	399百万円																																
日建ヘルスメディカル㈱	87百万円																																
ヒューマンメディカルリサーチ㈱	39百万円																																
㈱ファイン総合研究所	33百万円																																
従業員	21百万円																																
その他 2件	15百万円																																
計	1,188百万円																																
㈲コーフク商事	568百万円																																
㈱広島中央薬局	365百万円																																
日建ヘルスメディカル㈱	82百万円																																
ヒューマンメディカルリサーチ㈱	39百万円																																
㈱ファイン総合研究所	30百万円																																
従業員	18百万円																																
ささ企画(有)	11百万円																																
計	1,116百万円																																

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び前第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
減価償却費	1,610百万円	1,892百万円
のれんの償却費	572百万円	291百万円

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年6月30日)

1. 配当に関する事項

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成22年5月11日 取締役会	普通株式	2,248	44	平成22年3月31日	平成22年6月10日	利益剰余金

2. 株主資本の金額の著しい変動に関する事項

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

1. 配当に関する事項

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年5月10日 取締役会	普通株式	2,304	45	平成23年3月31日	平成23年6月10日	利益剰余金

2. 株主資本の金額の著しい変動に関する事項

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

・前第1四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 財務諸表 計上額 (注)2
	医薬品等 卸売事業	医薬品等 製造事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	524,864	4,175	529,039	-	529,039
セグメント間の内部売上高又は振替高	0	1,821	1,821	1,821	-
計	524,864	5,996	530,861	1,821	529,039
セグメント利益	6,297	100	6,398	235	6,634

(注)1. 調整額の内容は以下の通りであります。

セグメント利益

(単位:百万円)

利益	金額
セグメント間取引消去	2,089
全社費用	1,854
合計	235

全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない本社の一般管理費であります。

2. セグメント利益は四半期連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

. 当第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 財務諸表 計上額 (注)2
	医薬品等 卸売事業	医薬品等 製造事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	568,832	4,184	573,016	-	573,016
セグメント間の内部売上高又は振替高	0	2,202	2,203	2,203	-
計	568,832	6,387	575,219	2,203	573,016
セグメント利益	1,141	100	1,241	166	1,407

(注)1. 調整額の内容は以下の通りであります。

セグメント利益

(単位:百万円)

利益	金額
セグメント間取引消去	1,975
全社費用	1,808
合計	166

全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない本社の一般管理費であります。

2. セグメント利益は四半期連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は以下のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
1株当たり四半期純利益金額	100円21銭	35円77銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(百万円)	5,047	1,831
普通株主に帰属しない金額(百万円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(百万円)	5,047	1,831
普通株式の期中平均株式数(千株)	50,369	51,217

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

当社は、平成23年3月期の期末配当について、下記のとおり取締役会決議を行っております。

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年5月10日 取締役会	普通株式	2,304	45	平成23年3月31日	平成23年6月10日	利益剰余金

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成23年8月11日

アルフレッサ ホールディングス株式会社
取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 尾関 純 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 北川 健二 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 桂木 茂 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているアルフレッサ ホールディングス株式会社の平成23年4月1日から平成24年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（平成23年4月1日から平成23年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成23年4月1日から平成23年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益及び包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、アルフレッサ ホールディングス株式会社及び連結子会社の平成23年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途、財務諸表に添付される形で保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBR Lデータ自体は含まれていません。